

北小子（こ きたしやう）
じかん

くがつ あんしやうかだい
* 九月の暗唱課題は、十二月です。むかし使われていた暦でいわれる十二月のよび名を
おほ ゆうい
覚えましょう。由来を考えると覚えやすいでしょう。覚えるのは、一番上のよび名だけです。

くがつ あんしやうかだい
九月の暗唱課題

じゆうに げつ
『十二月』

むつき
睦月（一月）
しょうがつ しんぞく あつ なかむつ
お正月に親族が集まり仲睦まじくする月。

きさらぎ
如月（二月）
さむ ころも かさ ぎ つき
寒さから、衣を重ね着する月↓着更着（きさらぎ）。

やよい
弥生（三月）
あたた くさき お しげ つき
暖かくなり草木がいよいよ生い茂る月↓いよいよ生い↓いやよい↓やよい

うづき
卯月（四月）
う はな さ きせつ
卯の花が咲く季節。

さつき
皐月（五月）
さなえ う つき さつき
早苗を植える月↓早月

みなづき
水無月（六月）
た みず ひ つき みず つき
田んぼに水を引く月。水無（の）月。

ふ（み）づき
文月（七月）
たなばた うた ふみ か つき
七夕に歌や文を書く月。

はづき
葉月（八月）
きざ は お つき きゆうれき はちがつ いま くがつ じゆうがところ
木々の葉が落ちる月。旧暦の八月は今の九月、十月頃になるので秋です。

ながつき
長月（九月）
あき よなが よる なが つき
秋の夜長、夜がだんだん長くなる月。

かなづき
神無月（十月）
にほん かくち かみさま いずも たいしゃ あつ いずもちほう
日本各地の神様が出雲大社に集まるので、出雲地方では「神在月（かみありづき）」と
いうそうです。他の地域では、神様がいない↓神無（かみなし）↓神無月といひます。

しもつき
霜月（十一月）
さむ しも お つき
寒くなつて霜が降りる月。

しわす
師走（十二月）
いそが ししやう はし まわ つき
忙しくて師匠も走り回る月。

